

専門性の向上に努め、優しさと活力のある学校を

校長 乙部 理佳代

当校校長として2年目の春を迎えました。昨年度の反省を生かして達成できなかった課題に取り組むと同時に、子ども達を取り巻く世の中全体の進歩や変化に対応し、一人一人の教育的ニーズに合致した、専門性の高い肢体不自由教育の実践に努めていきたいと考えております。延期になっていた校舎建築工事が昨年12月に再開され、2階の廊下から眺めると校舎が着々と東へ伸びていっているのが分かります。完成は本年度末の予定と聞いていますが、本当に待ち遠しいです。校門の脇に植えられたハナミズキの木に、今年は20～30輪の真っ白な花が咲きました。昨年の春はほんの数輪だったことを思うと大きく育ってきています。まだ今は弱々しい若木ですが、この木の成長とともに、岐阜希望が丘特別支援学校の教育も、四方八方に枝を伸ばし、艶やかな葉っぱを茂らせ、豊かな花を咲かせられるよう成長していきたいと思えます。

教育目標「明るく 元気に 生き生きと」に向かって

当校の教育目標は「明るく 元気に 生き生きと」です。児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じたきめ細かな教育を実践する中で、健康な身体と豊かな心をもつ子、基礎的・基本的な力を身に付けて自分の思いを表現できる子、仲間とともに意欲的に活動できる子を育てることを教育の重点として取り組んでまいります。一人一人かけがえのない大切な児童生徒が、学校生活でも明るく元気に生き生きと活動でき、将来も変わらず明るく元気に生き生きと生活できる力を付けることを目指しております。

そのため、小学部段階ではいろいろなことにチャレンジし、身体や心を揺さぶる活動や体験をたくさん経験してほしいと考えます。中学部段階では自分の周りの人や事物に興味や関心を持ち、積極的にかかわる中で得意なことや頑張れることを見付けたり増やしたりしてほしいと願います。そして高等部段階では自分らしさを作り上げ、自己決定する力を付けながら、思い描いた進路実現につなげてほしいと思えます。

本年度の課題

本年度は、小学部に8名、中学部に1名、高等部に6名の入学児童生徒を迎え、全校児童生徒79名でスタートしました。教職員は16名の新転入者を迎え、総勢84名が一丸となって日々の教育活動に取り組めます。学校の規模も教職員数も申し分ない状況になり、あとは教育実践の中身の充実が課題です。肢体不自由教育の専門校としてコア・スクールに指定されてから5年が過ぎ、専門領域ごとのコア・ティーチャーがそれぞれ力を付け、校内外に対してリーダーシップを発揮する仕組みが整ってきました。もちろん人事異動等による人の入れ替わりはありますが、学校全体として専門性の伝承ができつつあります。一人一人の教職員が研修と実践をひたむきに積み上げる中で、さらなる専門性の向上に努力することが喫緊の課題です。

教員の一番楽しい業務は授業をすることです。児童生徒の発達課題や教育的ニーズに即した指導目標と指導内容を設定し、教材教具の選択や機器の活用も含めた支援方法に工夫を凝らし、質の高い授業を実践することが仕事です。日々の授業を見つめ直し、より良い授業を追求し、工夫と改善に拘りたいと思えます。さらに本年度は、授業の主人公である児童生徒の発達や変容を客観的に捉え、教員同士や保護者に対し説明できる力も付けていきたいと考えています。

保護者並びに関係各位の皆様には、本年度も当校の教育活動に対し、変わらぬご支援とご協力をいただきますよう宜しくお願い申し上げます。

(平成30年4月)